

見本

黒か青色のボールペンまたは万年筆を使用してください。鉛筆や消えるボールペン等のみで記入した場合、お受けできません。

区済

足立区奨学金返済申込書

1 本人		<提出日> 令和2年9月10日	
(フリガナ) 氏名	アダチ ミホ 足立 見本	校名※ 国立・公立 私立 〇〇高等 学校 大学	第3学年
生年月日	平成〇〇年 〇月〇〇日生		
現住所	〒120-8510 足立区 中央本町 1-17	日中連絡のつく番号をご記入ください。 日中に連絡することがありますので、学務課助成係 03-3880-5977 と学務課アドレス gakumu@city.adachi.tokyo.jp を登録してください。	
携帯電話番号	090-1234-〇〇〇〇		
eメール アドレス	gakumu @ adachi.tokyo.〇〇		

※学校名は在学学校名または卒業学校名を記入してください。

2 保護者		日中連絡のつく番号をご記入ください。 日中に連絡することがありますので、学務課助成係 03-3880-5977 と学務課アドレス gakumu@city.adachi.tokyo.jp を登録してください。	
(フリガナ) 氏名	アダチ ミホイチロウ 足立 見本一郎		
電話番号 (必ず出られる 番号を記入)	①自宅 03-1234-〇〇〇〇 ②携帯または勤務先 090-1234-〇〇〇〇		
eメール アドレス	gakumu @ adachi.tokyo.〇〇		

3 志望校又は入学予定校 (令和3年)		令和3年4月に入学予定の方のみ記入。具体的な志望校が決まっていなくても、現在の志望校を記入。採用決定後の変更は可能。 入学先が決まっている場合は、第1志望の覧のみ記入。	
第一志望	〇〇大学		

4 家族状況 (本人含む、住民票上の同一世帯員のみ)			申請日現在
氏名	年齢	続柄	職業
足立 見本一郎	45	父	会社員
足立 見本花子	43	母	
足立 見本百合子	20	姉	〇〇大学2年
足立 見本太郎	18	本人	〇〇高校3年
申込日現在の年齢を記入		本人からみでの場合を記入	職業についてくわしく記入。学生の場合は、在学学校名・学年を記入

*受理番号	20-
-------	-----

注意事項 *欄は記入しないでください。

裏面へつづく

(裏面)

5 奨学金借受状況 (または申請)

高校3年生で両方申し込む方は
それぞれご記入ください。

区分	高校分	大学分
該当する奨学金に	(○) 東京都育英資金	(○) 日本学生支援機構 第一種奨学金 () 足立区育英資金
	成30年4月～令和3年3月	令和3年4月～令和7年3月
借受額(予定総額)	1,260,000円	2,160,000円
借受額の1/2の額	630,000円…①	1,080,000円…①
助成金交付申請額 (①の額または100 万円の少ない方の 額)	<u>630,000円</u>	<u>1,000,000円</u>

借入総額の金額が決まってい
ない場合は、予定借入総額の金額を
記入してください。

借受額の1/2または100万円
の少ない額を記入してください。

6 進学

来(る)の夢などを本人が詳しく記入)

申込者本人ができるだけくわしく、将来の夢や進学したいという気持ちを記入してください。目安としては8割以上記入してください。本人以外が記入した場合は、受付できません。

(提出先) 足立区長

私は、足立区育英資金条例に基づく足立区奨学金返済支援助成を受けたいので申込みます。なお、この申請書の記載内容が事実と相違するとき、申込者の資格を欠くものとして、当該申込みを無効とされても異議のないことを誓約いたします。また、申込書内容の確認のため必要があるときは、世帯全員の住民記録や各奨学金決定・借入状況を官公署から閲覧され、記録することに同意します。区への卒業後の就職先の情報提供など、事業効果の検証に協力します。

令和2年 9月10日

申請者(学生本人)氏名

足立 見本太郎

保護者氏名

足立 見本一郎

保護者が記入し
てください。

※申請者・保護者氏名はそれぞれが自署すること。代筆不可。

『足立区奨学金返済支援 推薦調書』の作成について

推薦調書は、以下の条件を満たしていることを証明する必要があるため、令和2年4月1日現在の在学校の学校長が作成してください。作成していただくにあたって、以下および裏面の記入例を参考にしてください。また摩擦などにより記入内容が消えてしまうペンや鉛筆での記入はお控えください。なお、証明内容について、照会させていただく場合がありますのでよろしくお願い申し上げます。

条件 申し込み時までの在学等の学業成績が5段階評価で平均3.5以上の方。

- ① 申し込み時までの学業成績が上記の成績に満たない場合は、直近の成績でも可。
- ② 上記の学業成績に満たない場合でも、学習面や部活動など秀でた実績があれば、学校長の特別推薦として申し込み可。（学校長特別推薦）

1 学業成績欄

学年・科目・成績・成績合計・成績平均点を記入してください。成績が5段階評価方式によらない場合は、推薦調書の裏面「成績換算表」で算出願います。

- (1) 科目名など、スペース的に記入が困難な場合は、各学校所定の学業成績表を添付してもかまいません。その場合でも、必ず合計と平均点はご記入ください。
- (2) 単位不認定、再履修などで成績がつかない教科は、含まずに計算してください。また、成績の判定が、合格か不合格、認定か否認認定などの場合も含まずに計算してください。

2 特別に推薦する活動成果欄

上記の条件の②学校長特別推薦の基準は以下のとおりです。以下に該当する場合のみ、その内容を記入してください。

学校長特別推薦基準

	高 校	大 学
(1) 部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区大会（地区予選）の参加し入賞した。 ・ 都大会や全国大会に参加し入賞した。 	
(2) 学級・学校活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化祭（学園祭）などのイベントにおいて実行委員を1年以上継続して務める。 ・ 学級委員を1年以上継続して務める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究発表会で成果を発表した。 ・ 文化祭（学園祭）などのイベントにおいて実行委員を継続して務めるなど。
(3) 社会奉仕活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動に関わる表彰を受けたことがある。 	
(4) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記に準じた活動業績または表彰等を受けたことがある。 <p>（例：英検1級、珠算1級、その他美術、体育、技術等大会の上位入賞など）</p>	

3 その他

- (1) 各欄に所定の事項が記入されていない場合は、判定資格を欠くものとして不採用になることがあるので注意してください。
- (2) 推薦調書作成後は、所定位置に公印を押印してください。
- (3) 内容を訂正した場合は、学校長（学長）印を訂正箇所に押印してください。

記入例

足立区奨学金返済支援助成 推薦調書

「別紙」足立区奨学金返済支援 推薦調書』の作成についてを参照の上、作成してください。

生徒 氏名	足立 見本太郎	学校名 ※	学校のわかる範囲で記入してください。貸付奨学金だけでなく、給付奨学金を申請している場合も記入してください。
----------	---------	----------	---

1 奨学金の申請・利用状況

(○) 東京都育英資金 () 足立区育英資金 (○) 日本学生支援機構第一種奨学金
 (○) その他 (日本学生支援機構給付奨学金申請中)

2 学業成績 ※ スペース的に記入し、換算し、合計と平均点を算出してください。学年がわかるよう、記載願います。推薦調書(裏面)の成績換算表を参照にして、平均点を計算してください。なお、平均点が3.5を満たない場合は、直近の成績が平均3.5以上でも可能。小数第2以下は切り上げて記入してください。

学年	学年	学年	学年	学年	学年	学年	平均点
科目							計
成績							52点 3.7点

成績証明書添付

3 特別に推薦する活動成果

【上記『2学業成績』が平均3.5点以上の場合は記載の必要はありません。学校長特別推薦のみ記入】

NO	評価項目	活動区分	主な実績等	評価 (○を記入)
1	学習、部活動、専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> 部活動	入学時よりバスケット部に所属し、1年生ながらレギュラーとなり、2年生ではキャプテンとして部員を取りまとめた。昨年は全国大会に出場し、準優勝となった。	5 4 3 2 1

成績が要件に満たない場合で、学校長特別推薦(特例枠)で申請する場合のみ、部活動などで、他の生徒に比べ特に秀でた成績を修めていることを記載してください。(表面「注意事項」の3を参照)

4 推薦総合所見(できるだけ具体的に記入してください)

* 本特別推薦に値する本人の頑張り、意欲やその他の評価について、上記の評価を含めた総合的な所見を具体的に記入してください。

入学時から熱心に学習に取り組み、その成果が日ごとに現れてきている。また、友人達の悩みを親身に聞いてあげるなど、人望が厚い。本人は専門的に心理学等を学び、将来はカウンセラーになりたいとの夢があるが、経済的に家庭からの支援が困難な状況である。本人の夢を実現し将来社会に貢献する人物となるには、足立区の育英制度を利用し、少しでも返済への負担感を減らすことで勉学に集中できるようになることが、本人及び社会にとって有益であると考えられるため、本調書により推薦する。

参考にしてください。ご不明な点がありましたら、学務課助成係(03-3880-5977)にお問い合わせください。

※ 足立区奨学金返済支援助成は、
 ます。生徒・保護者にその旨をご
 足立区長

上記の者を、足立区奨学金返済支援助成の対象者として推薦いたします。

令和2年9月1日

在学学校名

〇〇高等

学校・大学

学校長【学長】名

学校長 千住 見本太郎

公印

公印を押してください。